

東京2020オリンピック聖火リレーについて

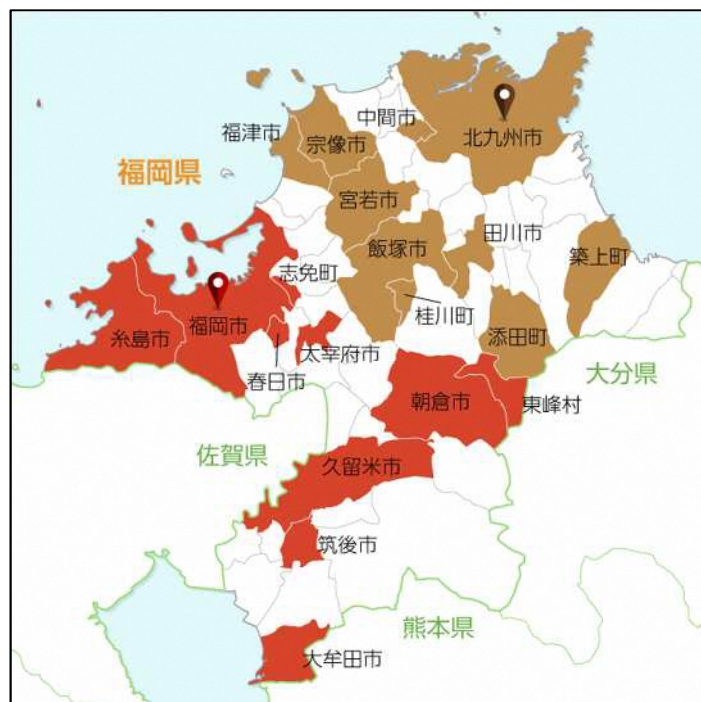
1 概要

- (1) 名称 東京2020オリンピック聖火リレー
- (2) 総日数 121日間（実施日：114日、移動日：7日）
- (3) 実施場所 47都道府県（859市区町村）
- (4) 主催 東京2020組織委員会
- (5) 共催 東京2020オリンピック聖火リレー各都道府県実行委員会
- (6) スケジュール 令和3年3月25日福島県・ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジでスタートし、5月11日（火）～12日（水）に福岡県で実施（北九州市は5月12日（水）実施）。
7月23日（金）新国立競技場での開会式で聖火台へ点火。

2 ルート

(1) 福岡県内のルート（実施市町村は延期前と同じ）

1日目（5月11日（火））	
実施市町村 （10市町村）	大牟田市⇒筑後市⇒糸島市⇒久留米市⇒春日市⇒朝倉市⇒東峰村⇒太宰府市⇒志免町⇒福岡市
セレブレーション会場	福岡市 平和台陸上競技場
2日目（5月12日（水））	
実施市町村 （10市町村）	築上町⇒田川市⇒添田町⇒飯塚市⇒桂川町⇒宮若市⇒宗像市⇒中間市⇒福津市⇒北九州市
セレブレーション会場	北九州市 門司港（関門海峡ミュージアムイベント広場）



(2) 本市のルート (延期前とルートは同じ)

【スタート】 20:04 門司港レトロ展望室前

【ゴール】 20:30 関門海峡ミュージアムイベント広場

【距離】 2,030m (スロット数:10)

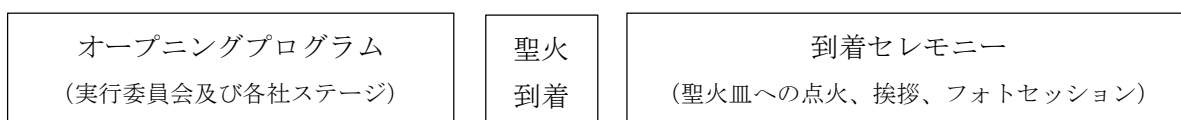


3 セレブレーション (会場は延期前と同じ)

1日の最終市町村では、セレブレーション (聖火到着を祝うイベント) を開催し、最終走者が聖火を聖火皿に灯すセレモニーを実施する。



※セレブレーションの流れ



- ・ セレブレーション会場では、都道府県実行委員会や聖火リレープレゼンティングパートナーによるステージプログラムを実施予定
- ・ 組織委員会、都道府県実行委員会、聖火リレープレゼンティングパートナーが聖火リレーを盛り上げる独自のブースを出展予定
- ・ 観覧客の募集は事前申込制により実施予定

募集期間	令和3年3月24日（水）～4月11日（日）		
募集定員	1,300人程度	応募方法	インターネット又は郵送

4 市民ボランティアの募集

スポーツ振興計画において「ボランティアの発掘・養成・活用」を掲げていることや、聖火リレーに関わることによるシビックプライドの醸成という観点から、市民ボランティアを募集する。

活動内容	沿道の走路警備、観覧者の誘導・整理など		
募集期間	令和3年3月24日（水）～4月4日（日）		
募集定員	200人程度	応募方法	インターネット又は郵送

5 新型コロナウイルス感染症対策

組織委員会が定める「東京2020オリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に沿った対策を行う。

ガイドラインの主な内容は、以下のとおり。

(1) 基本的な対策

「3密（密閉・密集・密接）の回避」、「飛沫感染・接触感染防止」、「殺菌・消毒の徹底」、「体調管理・確認の徹底」、「広報・周知の徹底」、「陽性者・体調不良者発生時等の対応計画の作成」

(2) リレールート沿道

- ・ 沿道観覧客には、沿道で密集しないこと、体調不良等の場合は観覧しないこと、マスクを着用する、大声を出さないことなどの感染対策を、事前にウェブサイト、SNS、広報物や案内板などで周知し、当日、運営スタッフからも、積極的に注意喚起する。
- ・ 3密防止のためのサイン表示や掲示板等を、可能な範囲で設置する。
- ・ 聖火リレーの走行の様子は、ライブストリーミング（インターネットのライブ中継）で視聴可能なことを周知する。

(3) セレブレーション

- ・ 観覧客の入場管理は、原則として事前予約制により入場者の把握を実施する。
- ・ マスク着用や適切な距離の確保などの必要な注意喚起を行う人員を配置する。